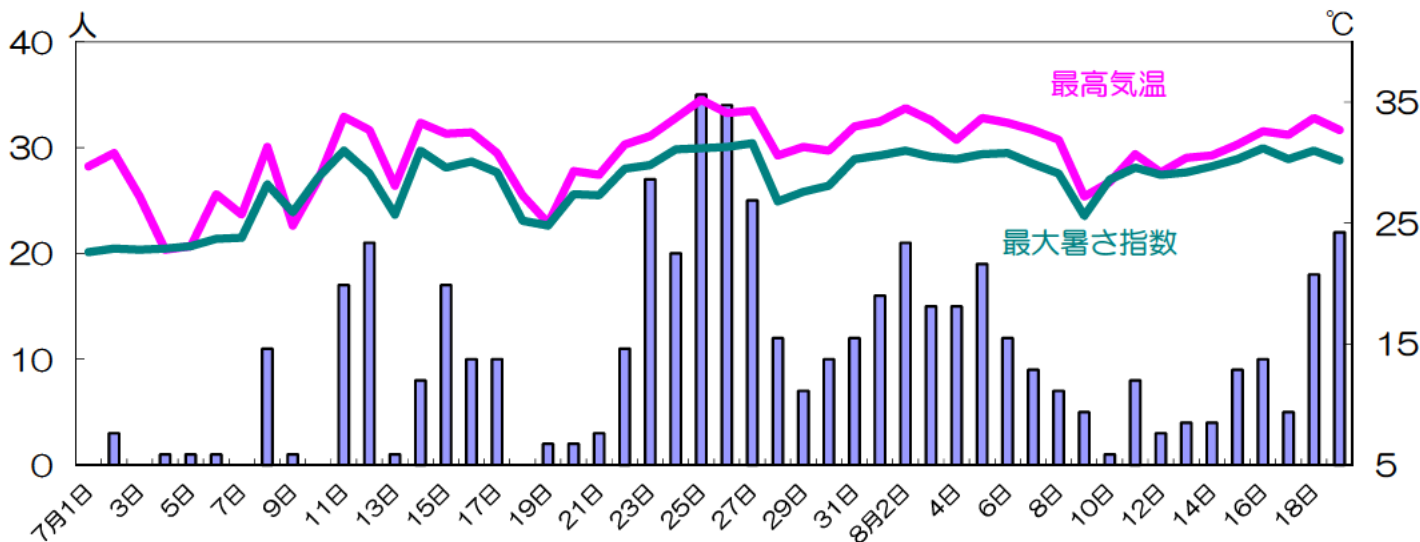


熱中症情報

<搬送人数>

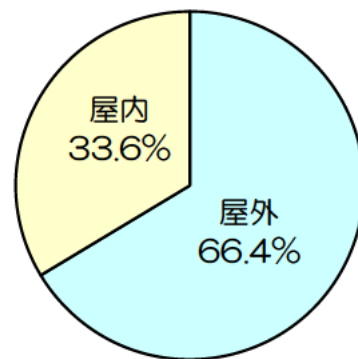
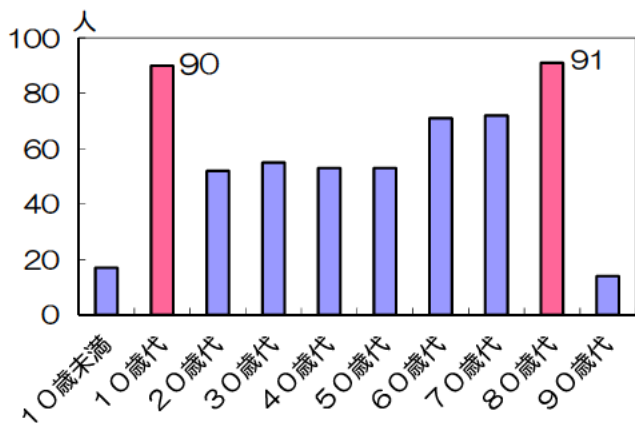
平成26年5月1日～8月19日までの救急搬送数は、計568人（5月11人、6月52人、7月302人、8月203人）です。

立秋（8/7）以降、減少傾向でしたが、残暑が厳しく、最高気温が30℃を超える日が続き（8/15以降、暑さ指数も連日30℃以上）、救急搬送者は増加しています。引き続き、こまめな水分・塩分補給と、室温は28℃を超えないように調節し、熱中症にならないよう、注意しましょう。



暑さ指数とは? 人間の熱バランスに影響の大きい①気温 ②湿度 ③輻射(ふくしゃ)熱の3つを取り入れた温度の指標
 詳細は「[環境省熱中症予防情報\(暑さ指数\(WBGT\)について学ぼう\)](#)」をご覧ください。

<年齢別> 年齢別では、80歳代が一番多く16.0%を占め、**<発生場所>** 屋外66.4%、屋内33.6%
 次に10歳代が15.8%でした。 でした。



<重症度> 軽症 62.0%、中等症 33.3%、重症 4.2%、重篤 0.5%でした。重症以上は27人（屋内15人、そのうち70歳以上は11人（73%））で、屋内での高齢者の重症化傾向が見られます。

